

アップグレード PCA 配備モデル

目次

[Prime Collaboration 保証 \(PCA \) -配備モデルをアップグレードして下さい](#)

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[アップグレード中小 OVUM](#)

[非常に大きいのに大きい OVUM をアップグレードして下さい](#)

[非常に大きい配備の Analytics データを復元して下さい](#)

[PCA 11.x](#)

[ルート ユーザを設定して下さい](#)

[PCA 11.x](#)

[PCA 12.x](#)

Prime Collaboration 保証 (PCA) -配備モデルをアップグレードして下さい

概要

この資料に Prime Collaboration 保証 (PCA) 配備モデルをアップグレードする方法を記述されています

ヨセフ Koglin によって貢献される、TAC エンジニア

このプロシージャは depolyment モデルをアップグレードするだけとない他のどの目的で使用する必要があります。

前提条件

要件

- PCA のナレッジ
- PCA Virtual Machine (VM) ハードウェア設定を編集するためにアクセスして下さい
- PCA ルートアクセス
- 非常に大きい配備にアップグレードしている場合、リモート ftp/sftp サーバは必要です

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報はすべての現在の PCA バージョンと関連しています

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題

capacity 引き起こす場合がある最大システム近くのまたはにあります:

- のようなシステムパフォーマンス問題は、一貫してクラッシュする 100% またはサービスに達することを選択します。
- 開いた仮想化形式 (OVUM) ごとのエンドポイントをもう展開し、より大きい 1 つを必要とできません。

解決策

アップグレード中小 OVUM

ステップ 1: 必要とされる余分リソースを判別するためにバージョンのための仮想化サポート ガイドを、参照して下さい。

[PCA バージョン別 OVUM Reuirements](#)

呼び出します。報告された問題がずっとないが、バックアップを作成することが最善常にです。

オプション 1

Virtual Machine (VM) スナップショットを奪取して下さい

ステップ 1. 管理者ユーザとして Vsphere へのログイン。

ステップ 1. Vsphere の VM の右クリック。

ステップ 2. **Snapshot>>Take** スナップショットを選択して下さい。完了を監視するために Vsphere ウィンドウの下部のでステータスをチェックして下さい。

または

オプション 2

PCA バックアップを奪取して下さい

ステップ 1. システム Administration>>Backup Settings>> への移動は『New』を選択します。すなわち提供しますちょうど保証データが保証および analytics ほしいと思う場合必要に基づいて必要情報を。バックアップが完了した、次のステップに進んで下さい。

注: PCA 12.x を利用する場合、globaladmin の https://PCA_IP_HERE:7443 およびログインにナビゲートして下さい。そこから、Maintenance>Backup にナビゲートし、『New』を選択して下さい。必要な情報を提供します。

ステップ 3. ルートおよび使用ポート 26 として PCA Command Line Interface (CLI) へのログイン。

ステップ 4. `/opt/emms/emsam/bin/cpcmcontrol.sh` 停止を入力して下さい。

ステップ 5.あなたに PCA VM をナビゲートし、VM を電源を切って下さい。

ステップ 6. VM 設定を右クリックし、追加情報を追加するために編集して下さい。

ステップ 7.右クリック VM で動力を与えるため。 待機 15 分。

ステップ 8.ルートおよび使用ポート 26 として PCA へのログイン。

ステップ 9. /opt/emms/emsam/bin/newcpcmtuning.sh を入力して下さい。

```
[root@jkoglin-pca bin]# ./newcpcmtuning.sh
Shutting down CPCM processes..
-----
--
Deployment models
-----
--
1) Small          - Upto 3,000 endpoints.
2) BEAssurance  - Upto 3,000 endpoints.
3) Medium         - Upto 20,000 endpoints.
4) Large          - Upto 80,000 endpoints.
5) Very Large    - Upto 150,000 endpoints.
-----
--
Select deployment model [1 or 2 or 3 or 4 or 5] : █
```

選り抜き 9 月 10.日にアップグレードしたい配備モデル。 スクリプト完了の後で、サービスは再起動します。

注: 現在小さい配備を使用する場合、中間か大きいにアップグレードします。 中間配備を使用する場合、大きいにアップグレードします。

非常に大きいのに大きい OVUM をアップグレードして下さい

PCA バックアップを奪取して下さい

ステップ 1. globaladmin ユーザを使用して PCA へのログイン。

ステップ 2.移動 toSystem Administration>>Backup Settings>> は analytics バックアップに Newand を提供します必要とされる情報を選択します。

注: PCA 12.x を使用している場合、ブラウザ https://PCA_IP_HERE:7443 および globaladmin ユーザとのログインを打ち込んで下さい。 そこから、Maintenance>Backup にナビゲートし、『New』を選択し、情報を提供し、それを完了します analytics バックアップのために確認して下さい。

ステップ 3 必要とされる余分リソースを判別するためにバージョンのための仮想化サポート ガイドを、参照して下さい。

[PCA バージョン別 OVUM Reuirements](#)

ステップ 4.ポート 26 を使用してルートとして PCA Command Line Interface (CLI) へのログイン (これをアプリケーション VM と呼出して下さい) 。

ステップ 5. /opt/emms/emsam/bin/cpcmcontrol.sh 停止を入力して下さい。

ステップ 6.あなたに PCA VM をナビゲートし、VM を電源を切って下さい。

ステップ 7. VM 設定を右クリックし、追加情報で追加するために編集して下さい。

ステップ 8.右クリック VM で動力を与えるため。待機 15 分。

ステップ 9.ルートおよび使用ポート 26 として PCA へのログイン。

ステップ 10. /opt/emms/emsam/bin/newcpcmtuning.sh を入力して下さい。

```
[root@jkoglin-pca bin]# ./newcpcmtuning.sh
Shutting down CPCM processes..
-----
--
Deployment models
-----
--
1) Small          - Upto   3,000 endpoints.
2) BEAssurance  - Upto   3,000 endpoints.
3) Medium        - Upto  20,000 endpoints.
4) Large         - Upto  80,000 endpoints.
5) Very Large    - Upto 150,000 endpoints.
-----
--
Select deployment model [1 or 2 or 3 or 4 or 5] : █
```

ステップ 11.5 つを、サービス再度再起動します『Option』 を選択して下さい。

ステップ 12 : Cisco Prime Collaboration 保証および Analytics 非常に大きい OVUM ファイル ダウンロードし、PCA データベースサーバを展開して下さい。後の手順で使用されるように IP アドレスを書き留めて下さい。

注: データベースサーバの配備の間にアプリケーション IP を頼まれた場合 IP アドレスを入力して下さい。

ステップ 13 : アプリケーション VM、CLI および使用ポート 26 へのルート ユーザとしてログイン。

ステップ 14 : コマンド

/opt/emms/emsam/advance_reporting/bin/enableAnalyticsWithRemoteDB.sh を実行し、ちょうど作成されるデータベースサーバをこのサーバを指して下さい。

ステップ 15 : コマンドが完了した後、新しいデータベースサーバの analytics データを復元して

下さい

使用し大きい depolymnt を非常に大きいにアップグレードしますより他のどの目的でプロセスの上で。

非常に大きい配備の Analytics データを復元して下さい

PCA 11.x

ステップ 1. ftp/sftp サーバに analytics バックアップを転送して下さい。

ステップ 2. インストールの間に作成したアカウントの Cisco Prime Collaboration 保証データベースサーバへのログイン。既定のログインは admin です。

FTP サーバのリポジトリを作成するためにコマンドを入力して下さい:

```
admin# config t
admin(config)# repository RepositoryName
admin(config-Repository)# url ftp://ftpserver/directory
admin(config-Repository)# user UserName password {plain | hash} Password
admin(config-Repository)# exit
admin(config)# exit
```

各記号の意味は次のとおりです。

- **RepositoryName**is ファイルがバックアップする必要がある場所。この名前は最大 30 の英数字が含まれている場合があります。
- **ftp://ftpserver/directory**is ファイルが転送されるサーバの FTP サーバおよびディレクトリ。また FTP の代わりに SFTP、HTTP、または TFTP を使用できます。
- **UserName and {} Password**are FTP、SFTP、または TFTP サーバのためのユーザ名 およびパスワード。Hash specifies は暗号化されたパスワード、非暗号化プレーン テキスト パスワードを plain specifies。

次に、例を示します。

```
admin# config t
admin(config)# repository tmp
admin(config-Repository)# url ftp://ftp.cisco.com/incoming
admin(config-Repository)# user john password plain john!23
admin(config-Repository)# exit
admin(config)# exit
```

ステップ 3. リポジトリ データをリストして下さい。リポジトリ内のデータをリストできます。Cisco Prime Collaboration サーバ asadmin and へのログインはこのコマンドを実行します:

```
admin# show repository RepositoryName
For example:
admin# show repository myftp
assurance_Sun_Feb_09_14_20_30_CST_2018.tar.gpg
```

これは PCA をリモート ftp/sftp サーバでバックアップ ファイルを読み込みます確認します

ステップ 4 データ、ログインを Cisco Prime Collaboration アプリケーションサーバ asadminthrough VM コンソールに復元し、vSphere クライアントを使用するため。SSH/Putty プロンプトからのリストアを誘発しないで下さい。

```
admin# restore Backupfilename repository RepositoryName application cpcm
```

、Backupfilenameis がタイムスタンプ (YYMMDD-HHMM) およびファイル拡張子 .tar .gpg をバックアップ ファイルの名前接尾辞として付けたところ。

たとえば、FTP サーバで復元するため:

```
admin# restore assurance_Sun_Feb_09_14_20_30_CST_2014.tar.gpg repository myftp application cpcm
```

PCA 12.x

データを復元するため:

ステップ 1.ブラウザ https://PCA_IP_HERE:7443 および globaladmin ユーザとのログインを打ち込んで下さい。

ステップ 2. Maintenance>Restore にナビゲートし、ftp/sft 情報を入力して下さい。

ルート ユーザを設定して下さい

PCA 11.x

ステップ 1.Log インストールからユーザー定義 Admin として CLI による PCA に。

ステップ 2: 次のコマンドを実行します。 root_enable。

ステップ 3.ルートパスワードで入力して下さい。

ステップ 4. admin としてログオンされて、ルートで入力し、ルートパスワードで定着するためにアクセス権を得るために入力して下さい。

ステップ 5.コマンドを実行して下さい: /opt/emms/emsam/bin/enableRoot.sh。

ステップ 6.パスワードを入力し、同じルートパスワードで再入力して下さい。

PCA 12.x

ステップ 1. globaladmin としてブラウザ https://PCA_IP_HERE:7443 およびログインを打ち込んで下さい

ステップ 2.ルートアクセスを選択して下さい

ステップ 3.ルート資格情報を 『Enable』 を選択し、入力して下さい。 [Submit] をクリックします。

Root Access

New Password

Confirm New Password

* Root Access will be Enabled now

* Password Reset will terminate the current active sessions